

平成26年3月13日(水)、午後3時5分から約25分間、防災訓練を行いました。

冒頭、3年前の東日本大震災で犠牲になられた方々に1分間の黙祷を捧げました。

まず、教室内で地震の揺れから身を守る避難訓練を行いました。携帯電話の緊急地震速報メールの着信音を放送し、素早く机の下に入り、対角線上の机の2本の脚をしっかりと握って頭部などを保護する体勢で、南海トラフ地震と東南海トラフ地震が連動した場合の揺れの時間と想定される120秒間を体験しました。

続いては、地震後の火災発生を想定してグラウンドへの避難行動を行う予定でしたが、降雨のため、高校副校長(安全担当)からテレビ放送により南海地震防災についての重点事項の確認を行いました。

(本校の南海地震対策の基本につきましては、本ホームページの「安全・防災の取り組み」に掲載しています。)

なお、3月14日(木)午前2時7分に伊予灘で発生した地震により、高知市でも震度3から4を観測したことを受け、当日朝のホームルーム等で、ご家庭での被害の有無を確認するとともに、特に次の3点については、各ご家庭で相談して不十分な点があれば対応するようにと、連絡しました。

- (1) 地震の発生に気が付いたかどうか。緊急地震速報は受信できたかどうか。
- (2) 地震が発生した時にいた場所(寝室等)に、転倒や落下の危険のある物はなかったかどうか。
- (3) 地震が発生した時にいた場所(寝室等)に、脱出用の靴や懐中電灯は備えてあったかどうか。

以上

